



連携事例2

R5.8 更新

青木繁「海の幸」誕生の家・ 小谷家住宅を活かした漁村のまちづくり ～ 画家が愛した神話のふるさと・布良 ～

ちば
コラボ大賞
受賞事例

■協働パートナーの種別

NPO	企業	行政	教育	地縁
-----	----	----	----	----

■事業運営団体

青木繁《海の幸》誕生の家と記念碑を保存する会

■協働パートナー

☆NPO 法人青木繁「海の幸」会 ☆富崎地区コミュニティ委員会 ☆布良崎神社 ☆NPO 法人安房文化遺産フォーラム ☆安房自然村 ☆くるめつつじ会 ☆館山美術会 ☆NPO 法人全国生涯学習まちづくり協会 ☆千葉県歴史教育者協議会 ☆公益財団法人石橋財団 ☆青木繁旧居保存会 ☆福原有信を語り継ぐ会 ☆館山市 ☆館山市教育委員会

■事業費

4,600万円

■資金調達手段

委託・補助金・企画立案・共催・事業協力



小谷家住宅

事業概要

マグロはえ縄漁発祥の漁村として栄えていた明治37年、画家の青木繁が滞在し「海の幸」（重要文化財）を描いた小谷家住宅の修復基金を広く募り、平成28年に「青木繁『海の幸』記念館」として開館しました。諸団体と連携しながら、地域の歴史文化や自然を活かし、まちづくりを進めています。

協働までの経緯

平成17年、NPO法人安房文化遺産フォーラム（以下「同法人」）と富崎地区コミュニティ委員会の呼びかけで、少子高齢化の進む漁村集落の地域活性化を考える集いを開催した際に、青木繁が滞在した「小谷家住宅」の保存・活用について当主から提案があり、有志により検討を始めました。

平成20年に同法人が事務局となり「青木繁《海の幸》誕生の家と記念碑を保存する会」を設立。館山市指定文化財となった小谷家住宅を館山市ふるさと納税制度で整備し、全国の画家やゆかりの美術関係者などの理解と協力を得ながら、NPO法人青木繁「海の幸」会を発足しました。巡回チャリティ展による基金協力や、青木繁の故郷・福岡県久留米市の青木繁旧居、絵画を所蔵する石橋財団をはじめ、多くの関係者と連携し、文化庁の補助を4年連続で受け地域の団体と連携して調査研究や環境整備等を進めてきました。

平成28年、修復を終えた小谷家住宅は「青木繁『海の幸』記念館」として開館。従来から連携のある布良崎神社と安房自然村は駐車場の提供、来訪者もてなし・誘導などで協力。同法人による「館山まるごと博物館」のスタディツアーに、記念館とゆかりの漁村めぐりツアーを組み込み、協働でガイド等を行っています。

主な事業内容(年間スケジュール等)

- 青木繁「海の幸」記念館の開館（毎週土日・団体は平日可）
- ゴールデンウィークまつり（多様なイベント）
- 記念館・記念碑・布良崎神社などのガイド（随時）
- お茶を楽しむ会・人形浄瑠璃・ひなまつりなど（季節）
- 記念館・記念碑等の周辺草刈りなどの環境整備（随時）
- 館山市ふるさと納税活用による寄付の呼びかけ等



主な協働パートナーとの役割分担

【NPO】

- ・青木繁《海の幸》誕生の家と記念碑を保存する会
- ・青木繁「海の幸」記念館の開館運営、周辺地区の観光整備、イベント企画、広報、事務局

【地縁団体等】

- ・富崎地区コミュニティ委員会：地域住民への広報
- ・布良崎神社：来訪者に解説ガイド、駐車場の提供

【企業】

- ・笹子木工 室内整備に協力

【行政】

- ・館山市：ふるさと納税を基金に補助金、文化財に関する協議

コラボのコツ!!

★美術関係者によるチャリティ展、館山市ふるさと納税による基金の受皿など、地元住民による調査研究や環境整備・建物修復・関係先とのコーディネートなど、それぞれの特性や力を活かしながら目標基金を達成し、修復・開館に到りました。

★青木繁「海の幸」記念館の末永い維持運営のため、友の会制度を設け、広く協力者を募っています。

協働事業によって生まれた成果

○個人住宅の保存基金を創出するという難しい課題を解決するために、保存会とNPO法人「海の幸会」行政が知恵を出し合い、「小谷家住宅の保存及び活用の支援に関する事業」をふるさと納税の一事業に組み入れることができ、6年で目標額を達成しました。

○住民の誇りと連帯感が育まれ、主体的にガイドなどのまちづくり活動に参加するとともに、地域課題を認識し、自ら解決しようという意識が向上して地域の活性化につながりました。

○青木繁ゆかりの地域間交流が盛んになるとともに、地域の知名度がアップし、市内外からの来訪者が増えました。

今後力を入れていきたいこと

○維持協力金（入館料）・友の会会費だけでは会館運営が困難なので、受付や環境整備のボランティアスタッフを募集します。

○もっと魅力ある記念館にする為、来訪者が更に興味がわく様な工夫を検討しています。



布良崎神社の鳥居越しに望む富士山



青木繁《海の幸》記念碑



青木繁《海の幸》(出典：石橋財団石橋美術館)

協働事例プロフィール

【活動開始年】 平成 17 年（法人化：平成 20 年 9 月）【活動の PR 手法】 <https://awa-ecom.jp/aoki-shigeru/>

【この事業で活用した補助金】 ①文化庁：文化遺産を活かした地域活性化事業（H25・26）

②文化庁：文化遺産を活かした観光振興と地域活性化事業（H23・24）

③国土交通省：「当たな公」によるコミュニティ創生モデル事業（H21）

※上記その他、千葉県からの補助金等多数

【表彰歴・マスコミ掲載歴等】 ①千葉県：ちばコラボ大賞（H26） ②NHK：『日曜美術館』（H29）

③ちばぎん総合研究所『MANAGEMENT SQUARE』新・房総百景（H28）

④事業構想大学院大学『月間事業構想』（H28） ⑤公益財団法人あしたの日本を創る協会『まちむら』134号

（H28） ⑥大正大学地域構想研究所『地球人』第7号（H28） ⑦WEB無印良品『ローカルニッポン』（H28）

⑧新潮社『芸術新潮』（H23） ⑨房日新聞・読売新聞・毎日新聞・朝日新聞・産経新聞・東京新聞・千葉日報・東洋経済新聞・西日本新聞・北國新聞ほか多数

【問い合わせ先】 担当者：小谷福哲 電話番号：0470-28-5063 メールアドレス：kamonokotani@awa.jp